岐阜工業高等専門学校	開講年度	令和03年度 (2021年度)	授業科目	インテリア設計II

科目基礎情報

科目番号	0079	科目区分	専門 / 必修
授業形態	演習	単位の種別と単位数	履修: 2
開設学科	建築学科	対象学年	4
開設期	前期	週時間数	前期:4
教科書/教材	日本建築学会編 コンパクト建築資料集成（丸善）		
担当教員	清水 隆宏,鳴海 栄子		

到達目標

①効果的な空間の演出について理解する
②インテリアと空間、両方のイメージを正しく把握した着想が行なえるようにする
③自らの意図を作品にする能力を身に付ける
④設計意図を説明する能力を身に付ける
岐阜高専ディプロマポリシー：（A）（B）（D）および（E）

ルーブリック

	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	未到達レベルの目安
評価項目1	効果的な空間演出が十分にできる。	効果的な空間演出が概ねできる。	効果的な空間演出ができない。
評価項目2	インテリアと空間の両方を正しく把握が十分にできる。	インテリアと空間の両方をほぼ正しく把握が概ねできる。	インテリアと空間の両方を正しく把握できない。
評価項目3	デジタルツールを用いた美しい表現が十分にできる。	デジタルツールを用いた美しい表現が概ねできる。	デジタルツールを用いた美しい表現ができない。
評価項目4	的確に意図を伝えるプレゼンテーションが十分に行なえる。	的確に意図を伝えるプレゼンテーションが概ねできる。	的確に意図を伝えるプレゼンテーションができない。

学科の到達目標項目との関係

教育方法等

概要	本授業では、インテリア系科目の集大成として魅力的な空間演出のためのインテリアを構想し、 ものを創り上げる実感を大切にしながら課題に取り組むことで、インテリアに対する総合的な理解を深める。 単なる「家具」や単なる「室内装飾」ではなく、それらが存在することでその空間を変化させることのできる作品を創造する。
授業の進め方・方法	積極的に建築・デザインの雑誌などに目を通して、感性を養うと同時に、表現技術などを参考とすること。 そのうえで、CAD室などを活用して積極的に情報機器を利用し、技能習得に努めること。（複数教員：課題ごとに担当教員が変わります。） （事前準備の学習）インテリア基礎及びインテリア設計Iの復習をしておくこと。 英語導入計画：Technical terms
注意点	第１課題は、創造した建築空間におけるインテリアを表現した提出図面により評価する（100点）。第２課題は、プレゼンテーションボード・室内パース・模型などの提出物、計100点。これらを合計した計200点の得点率により評価する。 ただし、一つでも未提出の課題がある場合は、不合格とする。さらに課題提出は時間厳守とし、期限に遅れた場合は減点とする。 また、授業に対する姿勢も考慮し、授業の進行を妨げる行為・消極的な行為に対しては、得点率の１～１０%を減じた値で評価する。 具体的には、出席簿に記載した注意の回数と減点（%）を対応させる。

授業の属性・履修上の区分

□ アクティブラーニング	□ ICT 利用	□ 遠隔授業対応	□ 実務経験のある教員による授業

授業計画

		週	授業内容	週ごとの到達目標
前期	1stQ	1週	【第1課題】空間を演出するインテリア表現作品の作成 課題提示、趣旨説明　（担当：清水）（ALのレベルC）	課題趣旨を理解する。 ”（教室外学修）課題趣旨をまとめる。”
		2週	空間の設定、資料の収集、エスキースチェック（ALのレベルC）	創造する空間を設定し、関連資料を収集する。 ”（教室外学修）創造する空間の考えをまとめる。”
		3週	インテリアプレゼンテーションボード及びパースの作成（ALのレベルC）	インテリアプレゼンテーションボードやパースを作成する。 ”（教室外学修）プレゼンテーションをまとめる。”
		4週	講評会（ALのレベルA）	講評会に参加する。
		5週	【第2課題】室内空間の設計 課題提示、資料説明　（担当：鳴海）（ALのレベルC）	課題趣旨を理解する。 ”（教室外学修）課題趣旨をまとめる。”
		6週	空間の設定、資料の収集（ALのレベルC）	創造する空間を設定し、関連資料を収集する。 ”（教室外学修）創造する空間の考えをまとめる。”
		7週	エスキースチェック１（コンセプト）（ALのレベルC）	コンセプトを検討する。 ”（教室外学修）コンセプト・基本計画をまとめる。”
		8週	エスキースチェック２（コンセプト）（ALのレベルC）	コンセプトを検討する。 ”（教室外学修）コンセプト・基本計画をまとめる。”
	2ndQ	9週	エスキースチェック３（アイデアスケッチ、スタディ模型）（ALのレベルC）	アイデアスケッチ、スタディ模型により空間を検討する。 ”（教室外学修）スタディ模型などによってイメージをまとめる。”
		10週	エスキースチェック４（アイデアスケッチ、スタディ模型）（ALのレベルC）	アイデアスケッチ、スタディ模型により空間を検討する。 ”（教室外学修）スタディ模型などによってイメージをまとめる。”
		11週	エスキースチェック５（平・立・断面図など）（ALのレベルC）	平・立・断面図などを作成する。 ”（教室外学修）平・立・断面図をまとめる。”

		12週	エスキースチェック6（平・立・断面図など）（ALのレベルC）	平・立・断面図などを作成する。 “（教室外学修）平・立・断面図をまとめる。”
		13週	インテリアプレゼンテーションボード及びパースの作成1（ALのレベルC）	インテリアプレゼンテーションボードやパースを作成する。 “（教室外学修）プレゼンテーションをまとめる。”
		14週	インテリアプレゼンテーションボード及びパースの作成2（ALのレベルC）	インテリアプレゼンテーションボードやパースを作成する。 “（教室外学修）プレゼンテーションをまとめる。”
		15週	講評会（ALのレベルA）	講評会に参加する。
		16週		

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
専門的能力	分野別の専門工学	建築系分野	設計・製図	建築の各種図面の意味を理解し、描けること。	4	
				図面の尺度・縮尺について理解し、図面の作図に反映できる。	4	
				ソフトウェアを用い、各種建築図面を作成できる。	4	
				各種模型材料(例えば、紙、木、スチレンボードなど)を用い、図面をもとに模型を製作できる。または、BIMなどの3D-CADにより建築モデルを作成できる。	4	
				与えられた条件をもとに、コンセプトがまとめられる。	4	
				建築における形態(ものの形)について説明できる。	4	

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	0	0	0	200	0	200
基礎的能力	0	0	0	0	0	0	0
専門的能力	0	0	0	0	200	0	200
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0